

放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 令和元年5月10日

事業所名: 多機能型事業遺書わくわくクラブ
放課後等デイサービス事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	
環境・ 体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	5	2			6	5			
	2 職員の適切な配置		4	3	・マンツーマンでの支援が必要な利用者さんもおられるので、ギリギリでの支援対応が否めない。 ・女性職員が不足していると感じる時がある。	8	2		1	・職員が増員され、女性職員も配置されたことにより適切な支援が可能になってきた。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がい者の特性に応じた設備整備	4	3		・荷物を置く棚の位置(小さい子が上段を利用)	7	2		1	・棚の番号の位置を変更する。 (人気のある1番を下段にする。) ・設備的にはできています。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	4	3		・エアコンの操作を勝手に子供がしないようにする。(温度設定)、換気(窓を開ける)	7	2		1	・エアコンの利きが悪い部屋があり、その理由による可能性がある。 夏場に確認する。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	2	4	1	・職員間の話し合いの場が少なく、情報共有において不十分な所がある。 ・役割、業務分担、時間の取り方、使い方、これからは始まりだと思ふ。					・各利用者ごとに担当者を決めているので、担当者が主導で実施していく。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	2	1	4	・第三者外部評価の実施できていない。					第三者による外部評価を活用した業務改善の必要性は認識しており、実施に向け予算確保したい
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	7								
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	7				9	1		1	
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	6	1			10			1	
	3 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	5	2							

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
適切な支援の提供（続き）	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	4	3		9			2		
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	3	4	・職員間での情報共有において不十分な点があり、内容を知らなかったり、突発的な立案もたまにある。 ・役割、業務分担、時間の取り方、使い方、これからが始まりだと思ふ						・各利用者ごとに担当を決めたので、担当が主導で実施していく。
	6	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	2	5	・行事等工夫し努力しているが、日々の支援内容の見直しも必要？カラオケ、DVDといった内容が目立つ。	5	3		3	・変化を望まない事もある。	・個別支援計画を基に、支援、ケア会議を実施し対応する。
	7	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	3	4	・多動な利用者に対しては比較的出来ている印象。						・個別支援計画を基に、支援、ケア会議を実施し対応する。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底		7	・時間内で十分な申し送り等が行えていないとの事。 ・役割、業務分担、時間の取り方、使い方、これからが始まりだと思ふ。 ・行事の予定日は特に、参加メンバー、時間、場所等の打ち合わせを可能な範囲で行い、子どもに誤解させないようにする。						・日直を決めて、送迎、報告事項など確認する。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化		7	・時間内で十分な振り返り等が行えていないとの事。ノート等で情報共有に努めている。 ・役割、業務分担、時間の取り方、使い方、これからが始まりだと思ふ。						・勤務時間により当日に振り返りは難しい。ノートを用意し気づいたこと、気になることを記入し、できれば翌日、もしくは早い時期に話す機会をもつ。
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	3	4	・役割、業務分担、時間の取り方、使い方、これからが始まりだと思ふ。						・記録の担当を決め、対応する。
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し		7								
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	3	4	・女性利用者等の支援などパート職員も含め日々の支援に携わっている者の同行も必要だと感じる。						・状況に応じて、パート職員の参画を検討する。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	3	2							

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
関係機関との連携（続き）	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	4									
	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	3	4								・必要に応じて、相談支援専門員を中心に、情報共有の場を設けてもらう。
	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	4	3								・求められた場合は、情報提供を行う。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	3	4		研修会等への参加は職員が希望すれば参加できる仕組みが出来ている。						・研修の情報提供を随時行う。 ・積極的な研修会への参加を促す。
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	2	4	1	・合同行事での交流」は有るが、共に活動するまでには至っていない。 ・夏祭りや餅つき大会等の合同行事を行っている。	3	2		6	・交流を望まないが、意見を言う人(所長)がいるので困る。	・可能な限り、交流する機会を設ける。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	3	4		地域の行事に積極的に参加するようにしており、事業所のPRに努めている。						・夏祭を実施し、地域住民の方の参加を得て、活動の様子等を理解・認識してもらった。
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	5	2			9	1		1		
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	6	1			9	1		1		
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	6	1		・減らしたい、無くしたい行動…保護者の意識が不足しているのか？食事は座って(おやつの食べ歩き)靴を履く等の基本的動作の習得を目指す。	5	1	1	4		・職員のスキルアップ目的の為、研修の機会を設ける。
4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	7					11					

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
保護者への説明責任・連携支援（続き）	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	3	4	保護者への適切な対処が十分でない部分がある。	8	2		1		・職員のスキルアップ目的の為、研修の機会を設ける。	
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援		1	6	・参加人数は別として情報交換等の場合は必要だと思う。	2	1	5	3	・必要を感じない。	・保護者と職員が情報共有できるような機会を設けることを検討する。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	6	1		4	2		5	5	・苦情を言うと怒る人(所長)がいるので困る。	・強い気持ちで生活してほしいという真意が伝わっていないのは残念です。
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	6	1		8	1		2			
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	7							2		
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	7			・保護者の急な入室(お迎え時等)によりあわてて書類を片付ける事もある。職員同士の会話にも気をつける。	7			4		・住所、電話番号の記入のあるものは鍵のある棚に片付ける。 ・資料を出したまま帰宅しない。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	5			・まずは、職員が各種マニュアルの内容をしっかりと理解・把握する。	7	2		2		
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	7			・定期的に災害訓練を実施し、職員及び利用者間で危機意識を持ち取り組んでいる。	8			3		・かなりの頻度で実施しており、利用者の危機への感覚が高まってきている
非	3	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	4	3		・全体会を通じ取り組んでいるが、出席出来る工夫をしてほしい。						・全体会で実施することがあるので、出来るだけ多く出席するようにする。また、出席者はフィードバックを行う。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	
非常時等の 対応（続き）	4	6	1							
	5	6	1							
	6	4	3							

やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載

食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応

ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底

・ヒヤリハット件数が少ないように感じる。
・もう少し欲しい。

・危険と感じるような事を記入し、情報共有を行っていく。